



特集1 P 2
話してみよう韓国語 第3回岡山大会

特集2 P 2
災害時多言語支援センターの
設置に向けて

特集3 P 3
留学生等による
国際理解学習支援プログラム

事業報告 P 4
岡山のCOOL 発見! 第2回 ほか

私、岡山に住んでいます P 7
留学生
グエン・マイ・フーンさん(ベトナム)

お知らせ P 7
岡山国際交流センター
指定管理のご案内

世界の文化 P 8
～受験編～

Think Global, Act Local P 8
～県内国際団体のご紹介～
認定特定非営利活動法人
日本・ミャンマー医療人育成支援協会

報告 P 9
国際理解学習プラン講師派遣 ほか

イベントカレンダー P 10
語学講座 ほか

おかやま 国際交流



話してみよう韓国語・岡山大会

オーストラリア人も参加しました

「一般スキット部門」発表の様子

大会を終えて集合写真

「話してみよう韓国語 — 第3回 岡山大会 —」

12月10日(土)



こちらのQRコードを読み取り、
動画をご覧ください。

韓国語を習い始めた人でも気軽に参加できる新しい形式の韓国語スピーチ大会「話してみよう韓国語大会」が3回目を迎えました。台本に従ってその場面を演技しながら発表する「中高生スキット部門」「一般スキット部門」と、韓国の国や文化について自分の経験談や思いを述べる「スピーチ部門」に14チーム37名が出場し、これまでの練習の成果を思う存分に発揮しました。今年は岡山県だけではなく高松市や姫路市からの出場者もいて賑わいました。出場者の斬新で奇抜なアイデアが満載で、観客も楽しみました。

特集 1

「話してみよう韓国語 –第3回 岡山大会–」

主催 一般財団法人岡山県国際交流協会、駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院
 共催 岡山県、駐大阪韓国文化院 世宗学堂
 特別協賛 ASIANA AIRLINES、AIR SEOUL

12月10日(土)

「中高生スキット部門」では、就実高等学校の石原 慧深^{すみれ}さんと後楽館高等学校の徳田 清美さんのチーム、「一般スキット部門」では東田 美恵子さんと薬師寺 瞳さんのチームが最優秀賞を獲得しました。抜群の演技力と流ちょうな韓国語を披露し観客を魅了した中高生や、韓国式健康ランド「チンジルバン」で起こるエピソードを様々な道具を用いて発表し会場の笑いを誘った一般スキット部門の出場者など、アイデアが輝いた非常に楽しい時間でした。「スピーチ部門」では、^{えいしん}盈進高等学校の重政 優さんの心を込めた真剣な話が審査員から高い評価を受けて最優秀賞の栄誉を獲得しました。70年前に来日し、ハンセン病にかかっても母国へ帰らなかった金 テギユ^{キム}さんとの切ない話は感動的で、涙を流す観客も見られました。大会を重ねるたびにレベルアップする出場者の韓国語の実力と演技に、審査員や応援に来た観客も感動した素敵な大会でした。

審査の間には、韓国文化公演として短編アニメ映画「Little King」と短編映画「歌う君は誰よりも美しい」の上映会を行いました。韓国の伝統音楽や親への思いなど韓国の特色が細かく描かれた映画で、99名の参加者から好評でした。大会後、出場者と指導者は韓国料理を囲みながら交流を深めました。結果を問わず仲良く話しながら互いに韓国への愛を共感した貴重な時間でした。



「スピーチ部門」で最優秀賞を受賞した重政 優さん



「中高生スキット部門」で最優秀賞を獲得した石原 慧深^{すみれ}さん(左)と徳田 清美さん(右)チームの発表の様子



「一般スキット部門」で最優秀賞を受賞した薬師寺 瞳さん(左)と東田 美恵子さん(右)のチーム

特集 2 災害時多言語 支援センターの 設置に向けて

平成27年12月末現在の岡山県内の外国人住民数は22,439人で、県人口1,939,722人の約1.2%を占めています。外国人住民数は、平成26年以降毎年増加しています。また、岡山県を訪れる外国人旅行者宿泊者数も、平成27年度は16万人を超え、平成23年度の約51,000人から4年間で3倍以上に増加しています。

県内で大規模な災害が起こったときに、被災地の外国人への十分な対応が困難な場合が想定されます。言葉や習慣の違いから情報の入手が困難な外国人被災者を支援し、災害弱者にしない取り組みが必要です。

一般財団法人岡山県国際交流協会では、岡山県との連携により、災害時に多言語支援センターを岡山国際交流センターに設置運営する計画に取り組んでいます。

災害時多言語支援センターは、職員だけでなく、ボランティアや様々な関係機関が集まって、行政の災害情報や生活の復旧・復興に必要な情報をやさしい日本語や多言語に翻訳して外国人被災者に提供するほか、電話等による



過去に開催したボランティア研修会の様子

問合せや相談に多言語で対応する活動の拠点となります。

備えあれば憂いなし。岡山県国際交流協会では、新年度、多言語支援センターの設置に向けて運営マニュアルや備品等の整備を行い、ボランティアや職員を対象に、実践的な内容の研修や訓練を実施していく計画です。

災害時多言語支援センターでのボランティア活動について関心のある方は、ご遠慮なくお問い合わせください。

留学生等による国際理解学習 支援プログラム

このプログラムは、県内の大学に在学する留学生を小学校に講師として派遣し、子どもたちと留学生との交流を通して相互に異文化理解を図るものです。子どもたちが世界への関心を深めることや、外国語学習にさらに意欲を持って取り組むことを期待し、今年度も10校で授業を行いました。

活動事例の紹介

9月9日(金)

備前市立伊里小学校 6年生 36名

派遣留学生: コラダ・ヴェンカタ・アビナヴさん(インド)
サルティニ・レアンドロさん(アルゼンチン)
ファン・トゥ・タオさん(ベトナム)

授業の様子

子どもたちによる日本の伝統文化や四季、食や遊びなどについての発表から交流を開始。各自が調べた内容を分かりやすく説明しました。休み時間には日本の遊び発表で用意した羽子板やパチンコと一緒に遊ぶ様子が見られました。その後は子どもたちによる「ふるさと」の合唱、そして体育館でおにごっこなどをして遊びました。留学生からは「一生懸命に発表してくれ合唱も素敵で、とてもうれしかった」「日本の遊びが好きになった」などの感想が聞けました。



羽根つきで遊ぶ様子

11月30日(水)

真庭市立余野小学校 1~6年生 17名

派遣留学生: ダッタ・アナップ・クメールさん(バングラデシュ)
ティン・ロク・トゥイさん(ベトナム)

授業の様子

各国の言葉でのあいさつや校長先生の英語でのあいさつ、子どもたち一人ひとりの英語での自己紹介があり、留学生は感激した様子でした。留学生の自国紹介では、子どもたちはとても興味深く聞いており、質問もたくさん飛び出しました。その後も給食を一緒に食べたり体育館で遊んだりしながら仲良くなり、とても有意義な交流ができました。「国のことを子どもたちに伝えることができて光栄だった。日本の文化についても知ることができ素晴らしい経験となった」との留学生の感想がありました。



子どもたちが英語で自己紹介をしました

10月13日(木)

新庄村立新庄小学校 1・2年生 13名

派遣留学生: 王 明敏さん(中国)
グエン・チュオン・ビン・フォックさん(ベトナム)
フェレー・ブジョル・ピラーさん(スペイン)

授業の様子

対象が1・2年生であったことから、留学生はパンダの赤ちゃんの写真を見せて興味を引いたり、問いかけたりしながら自国紹介をしました。「だるまさんがころんだ」を遊ぶ場面では、子どもたちが遊び方の説明やシミュレーションをしました。給食ではいろいろな話で盛り上がりました。「それぞれの国の言葉であいさつをしてくれた」「一緒に遊び、素晴らしい時間を過ごせた」と、留学生はとてもうれしそうでした。



「だるまさんがころんだ」の遊び方を説明する子どもたち



成 果

留学生はとても意欲を持って活動に参加しており、民族衣装や紹介したい物を持参した学生もいました。子どもたちは集中して自国紹介を聞き、休み時間や給食の時には覚えた英語で質問を試みるなど、積極的に留学生と交流していた様子が印象的でした。留学生にとっても学校の環境や子どもたちの様子、日本の遊び、触れ合いの中から学ぶことは多くあり、互いに異文化への興味がより高まったことと思います。今回学んだことがそれぞれの今後の活動に繋がることを期待しています。

- 関連団体
岡山県教育庁義務教育課、公益社団法人日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会、岡山大学、岡山商科大学
- 登録留学生数(全15名)
ベトナム4名、インド3名、中国3名、アメリカ2名、アルゼンチン1名、スペイン1名、バングラデシュ1名
- 派遣小学校(全10校)
浅口市立鴨方東小学校、吉備中央町立円城小学校、倉敷市立玉島小学校、新庄村立新庄小学校、総社市立昭和小学校、新見市立忠誠小学校、備前市立伊里小学校、真庭市立余野小学校、美作市立美作北小学校、美作市立美作第一小学校

岡山のCOOL 発見! 第2回 ~岡山の路面電車で街歩き Part2~ 11月3日(木・祝)

共催：一般社団法人大学女性協会岡山支部

出演：チフチ・アイテキさん(トルコ)、馬小菲^{マシヨウフィ}さん(中国)、三上 ジュディスさん(ニュージーランド)
ローレンス・ダンテさん(アメリカ)

司会：医学研究者 沖垣 達氏、中国短期大学保育学科 教授 角田 みどり氏



こちらのQRコードを
読み取り、動画を
ご覧ください。

7月に開催した第1回に続き、路面電車による街歩きの第2弾として、4名の出演者が街を歩いて発見した岡山のCOOLについて語り合い、のべ55名の参加者が楽しみました。

弓具店を訪れたローレンスさんは、日本文化の奥深さに感銘を受け来日した話や、弓術に優れていたアメリカのコマンチ族の紹介をしました。また、児島ジーンズ店を訪問して「海外のものを改良して新しいものを生み出す日本の職人技は素晴らしい」と述べました。チフチさんは、町内の清掃活動に遭遇して「現代はみんな忙しくて疲れている。近所で交流をしながら関係をつくれることはCOOL」と述べました。旧内山下小学校の訪問では「古いものを保存する日本人の素晴らしいさを感じた」と語りました。



会場で紹介された街歩きの様子

路面電車に乗って飲食店をめぐる「岡山シティグルメバーホップ」の企画に携わる三上さんは、ハラル食品を扱う店やマジック店等を紹介。「日本人は忙しすぎて楽しむ時間がないのは寂しい。時間ができれば、ゆっくり岡山の街を回りたい」と話しました。馬さんは、街歩きで石碑から岡山の歴史

を読み解きました。日本で最初に蒸気自動車を造った山羽^{やまぼとら}虎夫の胸像や、旭川沿いの岡山城の城壁、夏目漱石



イベントの様子

の石碑や表具師幸吉の碑を発見して「最初に空を飛んだ人間は岡山の人だった。ライト兄弟より100年も前に幸吉は17メートル空を飛んだ。街歩きをしながら写真を撮り、調べてまたその場所に行くと違う感動がある」と街歩きの楽しみ方を提案しました。

最後に「路面電車に乗って窓から見える風景には、その土地の過去や現在、未来が見える。皆さんも世界に一つだけの岡山の文化を見てください」との沖垣さんの言葉で閉会しました。

日本語ボランティアスキルアップ研修会

11月5日(土)

講師：金沢大学 国際機構 准教授 松田 真希子氏

近年、日本語教室には多くのベトナム人が学習に来ており、ベトナム人に効果のある指導方法が知りたいというリクエストがありました。そこで、ベトナム語を母語とする学習者の日本語教育を専門に研究している松田 真希子氏を招き研修会を開催しました。

講義では、ベトナム人は初級学習が終わるまでに500時間～600時間(インドネシア人は300時間、韓国人は150時間)必要であり、他国よりも時間がかかることや、ベトナム語の7割が漢字語(漢字由来の語)であるため、音と文字の対応関係が理解できたら語いが増えること、非漢字圏であるが、漢字文化圏のため、やさしい日本語よりも難しい漢字語を使う方が伝わりやすいことがあるなどの話がありました。

中でもボランティアが一番苦労している発音指導については、どうして日本語の発音に近づかないのか、日本語らしい

発音にするためにはどうしたらいいかなど、分かりやすく理論的な説明がありました。

ベトナム人に対する指導方法の参考書が少ないため、専門で研究、指導をしている講師から教わる事ができたことは、参加者30名のボランティアにとって大変よい勉強になりました。



講師 松田 真希子氏



研修会の様子

英語による絵本の読み聞かせ会 特別編

11月20日(日)

講師：エッシング・ポールさん(オーストラリア出身)、グエン・チュオン・ビン・フォックさん(ベトナム出身)
コラダ・ヴェンカタ・アビナヴさん(インド出身)、チェン・イ・ファイさん(台湾出身)
フェレー・プジョル・ピラーさん(スペイン出身)

今回は特別編ということで、親子合わせて43名の参加者に講師は3冊の絵本を英語で読みました。そのうちの1冊「Who's behind me? うしろにいるのはだあれ?」の英語版と日本語版、両方の読み聞かせをしました。英語と日本語の対比が印象的で、読み聞かせ中に子どもたちから英単語が次々と発せられました。



読み聞かせの様子

読み聞かせのあとは、台湾、インド、オーストラリアについて発表がありました。人口や面積などの基本情報に加え、観光名所や実際の暮らしの様子を、その国の出身の講師が写真を交えて説明しました。台湾の夜市の様子やたくさんのスクーターが行き交う街並み、インドの伝統衣装や結婚式の装飾、オーストラリアの国土面積の広さなど、生き生きとした説明に大人の参加者も聞き入りました。

交流会では、参加者や講師が軽食をとりながら英語で交流しました。後半はオーストラリアで親しまれている絵遊びゲーム大会を開催。どんどん面白くなっていく絵に歓声があ



チェンさんの発表「台湾」

がりました。参加者からは「大人も子どもも楽しめた」「講師も参加者も国際色豊かな集まりで、交流ができてよかった」といった感想が寄せられました。



国際色豊かな5人の講師

地球市民講座 特別編 ～映画上映会～

12月7日(水)

12月4日～10日の人権週間にあわせて、県民への世界の人権に関する問題提起を目的とし、タラール・デルキ監督のドキュメンタリー映画「それでもぼくは帰る～ シリア 若者たちが求め続けたふるさと～」の上映会を40名の参加者のもと開催しました。

映画の舞台は、2011年から民主化運動に揺れるシリアの第3の都市、ホムス。非暴力・平和主義で運動を先導したカリスマ的存在のサッカー選手バセットと周囲の若者たちが、やがて武力闘争の凄惨な道をたどるに至った経緯を追っ



真剣な眼差しの参加者

たドキュメンタリーです。ニュースだけでは知りえなかった現実が次から次へと画面に映し出されました。

参加者からは「シリアの生々しい様子を知ることができた」「自分ではなかなか選ばない作品なので、シリアを知るよききっかけになった」などの感想が寄せられました。また「地球市民の一員として、今までシリアの内戦について無関心でいたことをまず改めたい」との声もありました。ニュースでしか知らなかった内戦を身近なものとしてとらえ、厳しい中でも生きていくことの大切さを学んだ上映会となりました。



息をのむ場面が続きました

留学生と県民との交流会 特別編

12月18日(日)

講師：アームストロング・マライアさん(アメリカ、ネバダ出身)、ウィリアムソン・シドニーさん(アメリカ、アリゾナ出身)
 デイヴィッド・ジャスティンさん(アメリカ、オレゴン出身)、ハート・クリスさん(アメリカ、フロリダ出身)
 ハンコック・アリビアさん(アメリカ、イリノイ出身)、レキン・デイヴィッドさん(イギリス、ウェールズ・カムメル出身)
 コラダ・ヴェンカタ・アビナヴさん(インド、ハイデラバード出身)
 パクチンスケイト・シモーナさん(リトアニア、タウラゲ出身)

お互いに異文化理解を深めるため、岡山で暮らす留学生8名と43名の参加者が集い交流会を開催しました。まずはコラダさん、レキンさん、パクチンスケイトさん、ハートさん、アームストロングさんがそれぞれ出身地の紹介をしました。興味深い話がたくさん飛び出し、各地の様々な文化に驚かされました。次に「Who Am I?」という名前当てゲームを簡単な英語と日本語で楽しみました。留学生の自国の定番のゲームで遊びながら、英会話も交え、参加者と留学生はお互いに楽しく交流を深めました。



「Who Am I?」ゲームを楽しむ様子

昼の交流タイムはレキンさんによるウェールズ語でのあいさつから開始。折り紙ブースでは留学生も英語の解説を聞きながら挑戦しました。たっぷりフリートークを楽しんだ後は、ウィリアムソンさん、デイヴィッドさん、ハンコックさんが出身地の発表をしました。そして岡山の文化も知ってもらうため、奈義町役場国際交流員のエッシング・ポールさんが日本語と英語で奈義町の紹介をしました。最後に、留学生の出身地に

なんだクイズ大会を行いました。驚く内容ばかりで、各文化への興味がより深まりました。

よく知っている国についても、そこで生まれ育った留学生の話は興味深いものばかりで、もっと知りたいと探究心に駆られます。「文化や風習について詳しく知ることができ、とても勉強になった。もっといろいろな国のことを知ろうと思った」という参加者や是非奈義町を



インドの紹介

訪れたいという留学生の声からも、この交流会が次の活動へつながることが期待されます。



留学生「楽しかった!」

多文化共生コミュニケーションサポーター研修会 1月13日(金)、1月14日(土)、1月20日(金)

講師：第1回 金城学院大学文学部国際文化学科 教授 水野 真木子氏
 第2回 MIC かながわ 医療通訳コーディネーター 岩本 弥生氏
 第3回 国際医療福祉大学 准教授 おしみ たかゆき 押味 貴之氏

医療機関、学校、行政機関窓口等で外国人と日本人のコミュニケーションを通訳ボランティアとしてサポートする「多文化共生コミュニケーションサポーター」登録者と新規登録希望者を対象に研修会を実施しました。

第1回は、水野氏から「通訳ボランティア入門～コミュニティ通訳とは～」をテーマに、コミュニティ通訳の特徴と意義



第1回講師
水野 真木子氏



第2回講師
岩本 弥生氏



第3回講師
押味 貴之氏



グループで語彙の確認

や、活動にあたって基盤となる倫理観について講義がありました。後半では通訳に必要な技能の基礎となるラギングやシャドーイング、メモ取りなどのトレーニングをしました。

第2回は「医療通訳実践講座① 医療通訳ってどんなもの?」と題した、岩本氏によるロールプレイ中心の講義でした。通訳の鉄則と言われる「足さない、引かない、変えない」は、簡単そうにみえて実践すると難しいなど、やってみて初めて実感することや学ぶことがたくさんありました。

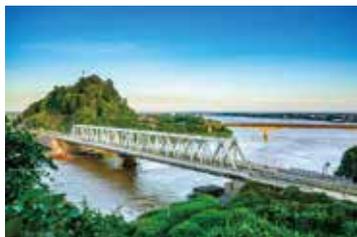
第3回の「医療通訳実践講座② 外科手術前後、産婦人科、小児科」では、内科医の経験がある押味氏から、豊富な医学の知識に基づいた講義がありました。事前準備のためのインターネット動画サイトの活用方法や、活動時の対人テクニックなど、参加者にとって具体的に役立つ多くの情報を知ることができました。

「私、岡山に住んでいます」 岡山で活躍する外国人をご紹介します

岡山で大学生生活をスタートし、約1年が過ぎたグエンさんに、日々の学生生活やボランティア活動についてお話を伺いました。

一出身地について

ベトナム北中部に位置する出身地のタインホア省は、紀元前にベトナム北部を初めて統一した伝説の王が建国した時代からあったベトナムでも最も歴史の古い地方の一つです。ユネスコの世界遺産に登録されている「胡朝の城塞」(ホー王朝の城跡)などの史跡や美しいビーチなど、たくさんの有名な観光地があり、毎年多くの観光客が訪れています。工業と手工業が発達している所で、日本のセメント企業も進出しています。



自然豊かなタインホア省
(出典: <http://thanhhhoaplus.net>)

一岡山での生活

広島県の専門学校で日本語を勉強していましたが、岡山大学の試験に合格して引っ越しして来ました。毎日、大学に行って日本人の学生と一緒に講義を受けています。文学部なので、日本の歴史や地理に触れて、日本の文化や考えをより深く理解できました。

2016年夏に、岡山の夏祭り「うらじゃ」に参加しました。たくさんの日本人と一緒に踊ったり交流したりして楽しかったです。日本での思い出がまた一つできました。

一積極的にボランティア活動中!

現在、「Betoaji Okayama」の一員として積極的にボラン

未来につながる交流を大切に

留学生

グエン・マイ・フーンさん

Nguyen Mai Huong

ベトナム・タインホア省 出身



ティア活動に参加しています。「Betoaji」とは、在日青年・学生によって成立された慈善団体です。「分け合うために生きる、愛するために生きる」という方針の下に活動していて、全国に13支部あります。主な活動の一つとして、ベトナム料理教室をしています。第1回は昨年12月にベトナムの代表的な料理「牛肉フォー」を作りました。2月はベトナムのテット(旧正月)の雰囲気味わってもらうためにパーティーを開催し、たくさんの方に参加していただき楽しく交流しました。ベトナムの文化交流や紹介活動を通じて得た利益は、ベトナムの山地の恵まれない子どものために役立てています。

一夢に向かって!

私は日本語の教師になることを目指しています。これからも日本語だけではなく、日本の社会、文化も深く理解して、将来ほかのベトナムの人々に日本のことを伝えようと思っています。また、日本にいるうちに、ベトナムのことを紹介する活動に力を入れたいと考えます。私の信念は何があってもあきらめずに最後まで努力することです。一生懸命努力すればするほど、運は味方すると信じています。今後、大学でたくさんの知識を身に付けながら、社会活動に積極的に参加するように頑張ります!



Betoajiの活動を通じて、多くの方と交流

岡山国際交流センター指定管理のご案内

一般財団法人岡山県国際交流協会は、岡山県から県施設である岡山国際交流センターの指定管理者として指定を受け、平成24年度から28年度末までの5年間、同センターの管理運営を行ってまいりましたが、このたび平成29年度以降33年度までの5年間も引き続き管理運営を行うこととなりましたのでお知らせします。

岡山国際交流センターは少人数の会議からシンポジウム、講演会、展示会、パーティーまで、用途・規模に応じてお選びいただける様々な会議室やホール、和室、調理実習室を備えています。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

岡山国際交流センターに関する問合せ

総務課受付管理班 TEL:086-256-2905 FAX:086-256-2226



日本各地で学校の合格発表が行われる3月、長い勉強の末、いよいよ受験生に春がやってきます。今回は、ケニアと中国の大学受験について迫りました。

ケニア



ミトロ・オスカー・ウィテレさん
(カカメガ出身)
大学院生／滞在歴：2年半

ケニアの高校は4年制です。1、2年生では幅広い教科を勉強して、3年生で最低でも7つの教科を選択します。そして、4年生の10月頃に約3週間にわたって国家統一試験(KCSE: Kenya Certificate of Secondary Education)を受けます。成績はA、A-、B+、B、B-……Eで評価され、C+以上をとると大学入学の権利が得られます。成績優秀で経済的な余裕のない学生には政府が補助金をだします。

高校まで毎日往復10kmを歩いて通っていたため、遅くまで残って勉強することはありませんでした。勉強は個人の自主性に任されており、私は友人とグループを作って勉強をしました。私のクラスには75人の生徒がいて、補助金を得て大学に行ったのは二人だけです。高校を卒業して大学入学までの間に、学校の受入れ状況などにより政府の定める待機期間があります。私は1年半の待機期間があり、その間は母校で勉強を教えていました。



ともに勉学に励み、高校教師となった友人とその教え子達(左がミトロさん)

中国



チン チュウ ショウショウ
陳 冲さん(宿州市出身)
大学院生／滞在歴：4年

中国の大学受験は大変です。中国は学生の数が多いので競争も激しいです。高校に入ると、受験に向けて毎日、朝5時頃起きて家で本を読み、7時頃学校に行きます。授業が終わると、先生の監督のもと21～22時頃まで学校で自習をします。その後、学校の寮に戻って勉強する人もいます。私も勉強しやすい寮に入っていました。週末には、先生のところに集まって勉強をしていました。家庭教師をつける人もいます。私の学校では毎週、模擬試験があり、100位以内だと順位が張り出されるので、一生懸命勉強をしていました。

中国ではお寺に行って合格祈願をし、願いが叶ったらお礼参りをします。私の家には仏像があり、試験の前には家族で線香をたいてお祈りをしていました。頭が良くなるように、勉強をするときには魚やナッツをよく食べます。

全国統一の大学入学試験「^{ガオカオ}高考」の2日間、受験生は試験場まで無料でタクシーに乗れます。無料タクシーには緑色の目印がついています。受験生の家族は、試験の2日間は玄関でずっと帰りを待ちます。雨でも雪でも待っているのです。



中国の民族衣装に身を包む陳さん



MJCP 認定特定非営利活動法人 日本・ミャンマー医療人育成支援協会



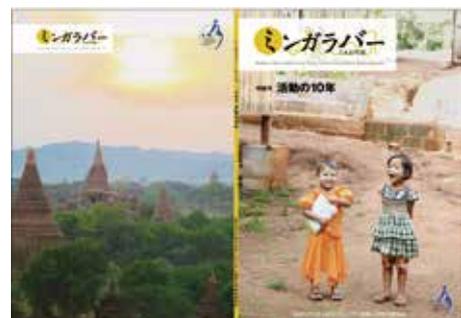
団体概要

医療に関心をもつ専門家集団としての経験を生かし、ミャンマーの医療環境の向上とミャンマー自国民のための医療リーダーの育成を目指しています。2005年10月設立、2006年3月認証、2012年6月認定。機関紙「ミンガラバー」年3回発行、最新版は第37号。2016年7月協会設立10周年の記念式典の開催と10年の歩み「ミンガラバー特集号(写真入り)」を配布。会員数約500名。

理事長 岡田 茂
事務局 〒700-0815 岡山市北区野田屋町2-4-18
電話 086-224-0102
E-mail office@mjcp.or.jp
U R L <http://www.mjcp.or.jp/index.html>

活動紹介

岡山大学を中心に活動。ミャンマー医療人(医師、歯科医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、臨床工学士など)を日本に招いての長短期間の研修(これまで70人以上)、形成外科を中心とする実地訓練と講習(9年継続中)、辺地へのクリニック寄付(これまで16か所)、口腔がん検診(3年継続中)、医療器具の寄贈(超音波、内視鏡、車いすなど)、医学部学生交流などを継続的に、精力的に支援しています。これらの活動が基となって岡田を軸とした文科省「留学生コーディネーター事業」、JICA「ミャンマー医学教育強化事業」へと発展しました。NPO会員を中心にミャンマー医療施設の視察なども積極的に進めております。関心のある方はお問い合わせください。



ミンガラバー特集号表紙

平成28年度 国際理解学習プラン講師派遣事業報告

専門的知識と国際経験を有する県内のNGOを学校の授業の講師として派遣。6団体が県内小中高校15校で学習プランを実施しました。

派遣団体	実施校	プラン名/実施内容
アジア農村協力ネットワーク岡山	笠岡市立神島外小学校 津山市立林田小学校	「食と農を通じて世界を考えよう」 5か国の料理実習を通して米を中心とした食文化がどのように発達しているか学ぶ場を提供した。
アジアの教育支援の会	倉敷市立第二福田小学校	「世界の中のわたしたち ～国際理解と支援のために～」 ネパール、ミャンマーの子どもたちの現状を知り、世界が抱える問題や発展途上国の子どもが置かれている現状について、講義の中でクイズを出題した。
特定非営利活動法人AMDA社会開発機構	総社市立昭和中学校 金光学園高等学校	「参加型ワークショップを通して体感する、世界とわたし」 世界(国内)の格差や多様性を学ぶ、「100人の村のシミュレーション」ゲームや世界の水問題を考えるワークショップを実施した。またAMDAの活動の紹介を通して、世界の現状を紹介した。
特定非営利活動法人岡山日本語センター	備前市立伊部小学校	「お互いの言葉・文化を尊重して、多文化共生を考えよう」 岡山の国際社会の変化や現状、外国人とのコミュニケーションについて講義を行った。また、世界各国の日用品や工芸品120点を紹介し、2か国の在住外国人と児童との交流を図った。
岡山ユニセフ協会	岡山市立五城小学校 岡山市立西大寺南小学校 岡山市立馬屋上小学校 倉敷市立二万小学校 岡山市立旭東中学校 美作市立作東中学校 岡山県立鷺羽高等学校	「世界とつながる時間 世界のこと自分のことを考えよう ミャンマー・フィリピン・ブータンの子どもたち」 世界の子どもの現状とユニセフの活動についての講義を実施した。予防接種キットや栄養計測器などの実物を紹介し、なぜ必要なのか考えさせた。また、幸せや平和について考えるワークショップを通して、児童が自主的に学んだ。
特定非営利活動法人国際文化友好協会 岡山支部	総社市立維新小学校 玉野市立後閑小学校	「知ることから始まる国際理解」 カードを使って異文化への理解を深めるワークショップを実施した。6か国の留学生と児童がお互いの文化紹介を行い、相互理解を深めた。

平成28年度 NGOの活性化支援事業報告

当協会では、次の団体へ助成金を交付しました。

団体名	事業名	実施内容
ダフェプロジェクト	外国人のための防災訓練・防災啓発講座	岡山在住外国人を対象に防災啓発講座を実施。地震発生時の行動や日ごろの準備など母語によるリーフレット制作や、消防車の見学をした。
邑久町の国際交流を推進する会 DBOC	国際理解のための料理教室ツーデイセミナー	外国人との交流を通して多様な文化や生活様式を学ぶ場を提供する目的で、外国人講師を招き、韓国・イタリア料理教室を実施した。
岡山ユニセフ協会	ユニセフのつどい in 岡山 ～笑顔の数だけ未来がふくらむ～	講演会、地球環境・ケニアの暮らし・国際医療・フェアトレードをテーマにグループ交流を行った。中高生が主体となってイベントを運営するよう企画した。
地球屋.com	料理を通じた国際交流	ドイツやブルネイなどからのホームステイの受入れ、外国人講師による料理教室(フィリピン・タイ)を行った。
特定非営利活動法人こくさいこどもフォーラム岡山	ESD café URA 2016	「若者・グローバル・ESD」をテーマに、県下の高校生が意見や体験、実践例をプレゼンテーション形式で発表するイベントを実施した。
岡山フェアトレードの会	フェアトレード学生サミットへの派遣交流事業	フェアトレードの普及啓発活動を行う全国の学生サークルが集まる「学生サミット」に参加した。交流を通じて他県の学生とのネットワークを築いた。
リトルプリンス	日仏アートコラボレーション	フランスの「Residence de l'avenir」(NPO)とのアート交流事業を実施した。アートセラピストの監修の下、フランスからは発達障害を持つ人、日本からは自閉症・アスペルガー症候群の人が制作したイラスト俳句の展示会を開催。展示を通して、「ニューロダイバーシティ(神経の多様性)」に関する啓発活動を行った。
特定非営利活動法人歯科ネットワーク岡山から世界へ	発展途上国または歯科治療不拡充地域での歯科保健健康促進事業	ベトナムで、無料歯科診察、口腔内写真撮影と検診によるカルテの作成、問診による生活習慣調査、歯磨きカレンダーの導入を行った。

※今年度、日本語開設・活動支援事業の助成金交付はありませんでした。

会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員：2,000円 団体会員：10,000円
賛助会員：30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00～17:30(月～土曜日)

E-mail:kokusai@opief.or.jp



日本語講座

毎週火曜日から土曜日まで実施しています。講座を希望する方は、岡山国際交流センター1階、情報相談コーナーでお申し込みください。



- と き 火曜日 10:00~11:40 / 18:30~20:10
水曜日 10:00~11:40 / 18:30~20:10
木曜日 10:00~11:40
金曜日 10:00~11:40
土曜日 15:10~16:50
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室
- 受講料 無料(ただし、ジャパニーズクラス会員2,000円に入会が必要です。)
- 定員 入門~中級 各曜日25名
- その他 1人2講座まで。無料見学もできます。

韓国語講座

韓国の生活・文化全般への理解を深める韓国語講座を開催します。韓国語に興味のある方のご参加をお待ちしています。

- と き 入門 平成29年5月13日~平成30年3月10日 第2・4土曜日
初級 平成29年5月12日~平成30年3月9日 第2・4金曜日
会話 平成29年5月19日~平成30年3月2日 第1・3金曜日
時間 19:20~20:30(日程は変更することがあります)
- ところ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 対象 入門 韓国語を初めて学習する方
初級 韓国語の文字を覚えている方、入門段階を終えた方
会話 簡単な文法を覚えて自分の気分や感情などが話せる方
- 受講料 協会会員 8,000円、一般 10,000円(全20回、テキスト代別)
- 定員 各25名
- 申込み 情報班まで(4月3日(月)受付開始)

インドネシア語講座

インドネシア語は世界で最もやさしい言語の一つといわれ、初心者でも安心して受講できます。留学生やインドネシアに滞在経験のある講師が丁寧に指導します。

- と き 初級、中級
土曜日 13:00~14:45(4月から翌年3月まで)
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室等
- 講師 県内在住インドネシア出身留学生
- 受講料 15,000円(1年間、テキスト代別)
- 定員 初級、中級 各25名
- 共催 岡山インドネシア友好協会
- 申込み 岡山インドネシア友好協会 谷本氏まで
(TEL:086-277-0329)

中国語講座

講師はとても親しみやすく、学習目的に合わせた楽しい授業です。中華料理体験も行っています。

- と き 入門 土曜日 17:40~19:10
初級 土曜日 19:20~20:50
中級A 木曜日 19:00~20:30
中級B 土曜日 10:00~11:30 ※中級A、B、Cのレベルは同じです。
中級C 日曜日 10:00~11:30
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室
- 講師 県内在住中国出身留学生
- 受講料 高校生以下 13,000円
大学生・社会人 協会会員 15,000円
一般 18,000円(6か月間、テキスト代別)
- 定員 各16名 ●共催 岡山県華僑華人総会
- 申込み 岡山県華僑華人総会事務局まで(TEL:086-201-1076)

EVENT CALENDAR

イベントカレンダー

※都合により、内容が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



5月

20日(土) おかやまフェアトレードデー!

フェアトレードについて考えるワークショップやセミナー、フェアトレード団体の資料や商品の展示等を行います。詳細は4月中旬に発表予定です。皆様ふるってご参加ください。

- と き 5月20日(土)
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場 ほか
- 参加費 無料
- 共催 JICA中国(申請予定)
- 問合せ 企画班まで(4月20日(木)受付開始予定)

6月

11日(日) 英語による絵本読み聞かせ会①

様々な国に触れ合いながら英語が楽しめる読み聞かせ会です。講師の母国の話を聞くコーナーもあります。

- と き 6月11日(日)11:00~11:30
- ところ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 講師 県内在住外国人
- 対象 県内在住の外国人及び日本人の子ども(3歳~小学6年生)とその保護者等
- 参加費 無料
- 申込み 不要
- 問合せ 情報班

中旬(予定) 留学生と県民との交流会

県内在住の留学生が講師となり、文化や習慣などの紹介をします。

- と き 6月中旬(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール(予定)
- 参加費 協会会員:無料、一般:500円
- 定員 30名程度(要申込み)
- 申込み 情報班まで(5月中旬受付開始予定)

問合せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会

企画情報課 情報班・企画班

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00~18:00)

[休館日]12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉違町2-2-1

岡山国際交流センター内

一般財団法人 岡山県国際交流協会

☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)

☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

E-mail: kokusai@opief.or.jp